



JAL不当解雇撤回ニュース

No504 号 2016.09.21
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.co>

植木社長宛メッセージ④

争議継続は何のため?



JALは「解雇撤回はコンプライアンスに反する」と、昨年2月の最高裁判断を盾に一切の話し合いを拒否しています。企業が社員相手に4争議を抱えていることは異常です。それは経営責任放棄であり、ましてや更生会社としてスタートしたJALにとって恥ずべき企業姿勢です。一体JALは何のためにこの争議を続けているのでしょうか。この先どうしようと考えているのでしょうか。1兆円に届きそうな内部留保、そして現場もベテランの復帰を望んでいます。争議を解決できない理由はどこにあるのでしょうか。植木社長が決断すれば良い事です。



ベテランは宝

私は看護師をしています。新人の割合が多い職場はひやりハットやミスが多く、安全を確保する上ではベテランの存在は欠かせません。安心して空の旅をする為にどうかベテランを切り捨ては止めてください。争議解決の為に試合に応じてください。 福島

JALは不当解雇撤回裁判で勝ちましたが、一般の目から見ると組合敵視の意図があったことは否定できないと思います。今後広く国民に利用される為にも争議団との話し合いに応じてください。 千葉

客室乗務員は様々な厳しい訓練を受け実際に経験を積んで1人前なのです。「若くて可愛い子」のサービスが1番なのではありません。若い人もベテランと組んで学び1人前になるのです。「人」を大切にしない会社が、客の安全安心を第一に考えるなんてありえません。解決に向けて誠意を示してください。 神戸

私は2016年1月末にJGSを定年退職しました。41年10か月勤務しJALを見てきました。組合対策の解雇であることは、長くいた人であれば分かることです。長引かせずすぐ解決することを求めます。 神奈川

空の労働者こそ知識と経験を必要とします。彼らの仕事の上に乗客の命が守られるのは誰にも分る事です。ここに効率とかコストを引き下げるのみの資本の論理を持ち込むことに反対! 静岡



組合差別は人種差別と一緒です。差別解雇撤回を求めます。 神奈川



組合敵視は止めて

WOWOWと小説「沈まぬ太陽」を双方見えています。日航の労組敵視対策は目にあまるものがあります。近代的労使関係を取り戻し労使関係改善の為に直ちに解雇された165名を職場に戻すことを要請します。 愛知



安心安全に利用したい

「沈まぬ太陽」を読みました。御巢鷹山の教訓、初心に帰ってしっかり考えてください。安全第一です。気に入らぬ者を排除するのではなく、お互いが一番いい方法を見つけ出してください。 京都



安全安心して利用できるようにしてほしい。社員不足や経験不足では事故がいつ起るか分かりません。生活の糧を絶たれた人の気持ちをもっと理解してください。まずは交渉のテーブルについて下さい。 愛知

私の娘はよく海外へ行きます。いつもテロの心配をしていましたが、JAL の現状を知りまた別の心配ができました。 静岡

沈まぬ太陽に感動しました。「世界で最も安全な運航を保障します」と言えるような会社になってください。 宮城

御巣鷹山事故の教訓はどこへ行ったのですか。労働者の数を減らし不安全な運航をする事は航空にとっては殺人罪だ。 滋賀



労働者を大切に

空の安全は現場で働く人たちの労働環境を良くすることが重要。ベテランから新人まで安心して働けるよう労使関係の信頼を取り戻してください。 愛知

JAL 経営陣は労働者を人として扱っていない。

神奈川

貴社が不当に解雇を行い、国の支援のもとに急激に業績を回復したこと、そして更に労働条件を悪化させていることについて、働く者として利用者として大きな怒りを感じます。安全安心の土台として労働者の権利を強く求めます。 福島

乗客の「安全と命」を守ることはもちろん、労働者の「生活と命」を守ることも会社の業務と責任ですよ。

福島

安全安心な交通運輸網を作るには、そこで働く労働者を大切にすること。風通しのいい職場を作ることが大事です。安心して乗れる JAL にして下さい。 埼玉

企業は人の幸せをすることによって成り立つものだと思います。社員が働く喜びを感じ、それによって多くの利用者也豊かになる。そういう営みを忘れてはならないのではないのでしょうか。とりわけ「命」を預けている仕事。安全が二の次の課題とされている企業のあり方は厳しく問われることになるでしょう。 東京



話し合いに応じて

争議解決の為の本社行動に参加しています。JAL は労働者の真摯な要求に何ら答えない態度に怒りを覚えます。日本を代表する企業がこのような態度をとることは断じて許すことはできません。労働者・利用者の為にも早期解決の為に一步踏み出してください。 滋賀

安全を突き詰めると利益は落ちます。お金をかけないで安全を高めるには労使間の良好な状態が必須だと思います。労使がいがみ合っている企業を世間は信頼するのでしょうか。 東京

元最高裁判事を社外取締役と呼んで、裁判を有利に持って行ったやり方は認められない。裁判は終わったが原告団との話し合いに応じてください。 東京

安倍内閣の解雇自由の先駆けで JAL が行っていることは極めて重要です。一つ一つの闘いに思いを込め解雇撤回まで闘います。 北海道

裁判所での「165名の解雇は必要なかった」稲盛証言は労組攻撃の不当解雇そのものです。グローバル企業である JAL の不当解雇は国際社会の常識から考えても大きく逸脱したものであり、一刻も早く話し合いのテーブルにつき全ての争議解決を決断すべきです。 神奈川



社長宛メッセージは10月末日締め切りです。| 全国からの声をまだまだお待ちしております。|

JAL 原告団

検索